

2学期も実り多き学期に

校長 関根 祐一

処暑を過ぎての猛暑の戻りは、より一層厳しく体を感じるころですが、日は短くなり始め、蝉の声からいつの間にか秋の虫の合唱に代わってきています。

地震、線状降水帯による集中豪雨、台風等、全国的に大きな災害に見舞われた夏でした。被災地域の皆様、関係の皆様には心からお見舞い申し上げます。

そうした状況もある中、44日間の夏休みが明け、子供たちの元気な声が学校に戻ってきました。一回りたくましく成長した子供たちと、今日2学期を迎えることができましたことに感謝の気持ちで一杯です。子供たちのために、様々な思い出の場をつくってくださった保護者の皆様、地域の皆様、誠にありがとうございました。



8月31日（月）2学期初日 登校と1時間目の様子

さて、2学期は運動会や音楽会、修学旅行（6年生）、市内親善音楽会（5年生）、社会科見学や遠足等、大きな行事をたくさん予定しています。学習はもちろん、こうした学校行事等も通して、頭と心と体を鍛え、充実した2学期にしていきたいと考えております。

夏・秋・冬と3つの季節にまたがる長い学期でもありますので、子供たちが、日々の学習や、行事への取組を通して自分自身に何が身についたか、自分の伸びや成長を確認・自覚できるようにすることを大事にしながら、着実に教育活動を進めてまいります。「学んだことの証はただ一つ、何かが変わることである。」林 竹二氏の言葉です。九九ができた、逆上がりができた、読書量が増えた、文字を丁寧に書けるよう

になった、清掃に一層熱心に取り組めるようになった、進んであいさつができるようになった等々、子供一人一人に必ず学びの証があります。子供の伸びを適切に見取り、共に喜んで、成長の実感を自信につなげていきたいと思っています。

また、小学校段階にあっては、好きなことをもっと好きになれた、とっても楽しいことがあった等の豊かな体験・経験の積み重ねも、後に実を結ぶ大きな心の変化・成長であり、学びの証であると思っています。心の面の学びの証までを確かめるには、お子さんとのたっぷりの会話がその手段となるのではないのでしょうか。お子さん自身が学んだことの証を自覚できるよう、ご家庭でもゆっくり会話する時間をもっていただければと思います。

保護者の皆様、地域の皆様には、今学期もご支援・ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

全国学力・学習状況調査（6年生の国・算で実施）や埼玉県学力学習状況調査（4・5・6年生の国・算で実施）の結果が出されました。

結果を概観しますと、全国学力・学習状況調査では国語と算数ともに全国や県の平均値を上回る結果でした。埼玉県学力学習状況調査でも、実施3学年、国語・算数ともに県や市の平均値を上回る結果でした。

もちろん、こうした調査結果は、全体の傾向であり、また、学力の一側面のみを示すものであって、学びの成果の全てを表すものではありません。学習指導の一層の工夫・改善のための1つの指標として捉えています。大事なことは子供たちが真っ直ぐに学習に臨み、一人一人が着実に歩を進められようにすることです。“1つ1つの授業を大事にして、45分間を最大限有効に活かし豊かな学びを紡ぎだす” 不断の努力が、子どもたちの、確かな学力・体力を高めていくものと思っています。